



市民祭 署名・宣伝に取り組みました

日本共産党尾張旭市委員会は、10月12日に開かれた市民祭で、昨年に続き今年も署名に取り組みました。

今年取り組んだ署名は後期高齢者医療制度の廃止・消費税増税反対・労働者派遣法の見直しを求める3種類。1時間ほどで236筆の署名が集まりました。

後期高齢者医療制度の廃止を求める署名に、署名をしてくれたおばあちゃんが「こんなに大勢の人で取り組んでくれて嬉しい」と感謝の声。

風船を配る人、のぼり旗やポスターを持つ人、メガホンで声をかける人、みんな取組んで元気の出る楽しい活動になりました。

15日に、後期高齢者医療制度で4回目の保険料年金天引きが強行されました。

10月からは、国保料の天引きも含めて、新たに約625万人が対象に加わり（尾張旭市では4月から既に実施済）、医療保険の年

金天引き対象となった方は全国で約1510万人に拡大します。

舛添要一厚生労働相は、選挙を意識して「見直し」を口にしてはいますが、高齢人口が増えるに従って保険料が上がる、診療報酬が別建てでまともな医療が受けられなくなる、という仕掛けを持つ、制度の根本には触れません。

さらに世論を広げて廃止させましょう。



好評 消防署のペーパークラフト

11日に開催された市民消防広場では、消防車やはしご車に乗れるのが、ちびっ子に大人気。今年も試乗を待つ長い列ができていました。

今年の消防広場では、タンク車のペーパークラフトを配布していました。

市のホームページからは写真の「タンク車」の他に、救急車、救助工作車の計3種の型紙をダウンロードできます。

http://www.city.owariasahi.lg.jp/c_navi/sosiki/shoubou/paper/index.html

ペーパークラフトのページアドレスをQRコードで作ってみました。カメラ付き携帯などで読み込んで、パソコンに転送すれば入力の手間が省けるかと思えます。↓



市民消防ひろばで配布されていたタンク車の完成写真
(市ホームページから)



市内の個室ビデオ店 火災予防対策は…

10月1日未明に大阪で起きた、個室ビデオ店の火災事件を受けて、市内事業所の状況はどうだったのか、尾張旭市消防本部にお話しを聞きました。

市消防では、全国で重大な火災などが発生した場合、市内の状況をすぐに確認するように努力しており、今回も県からの依頼前に立ち入り調査を開始しています。

消防本部によると、2日に個室ビデオ店2店舗、マンガ喫茶3店舗を、3日にカラオケ店2店舗を立ち入り調査したところ、火災の危険のある違反は見あたらず、見つかった軽微な違反については、改善指導を文書通達したとのことでした。

尾張東部地域の各消防の調査状況について、3日付け中日新聞にも報道がありました。尾張旭市消防の対応は事件の起きた週内に調査を完了しており、比較的早いと思えます。

訂正

前号、旭民報475号で9月議会の賛否の分かれた議案について掲載しましたが、賛否の別れた議案がもう1件ありましたので訂正します。

もう1件は、第72号議案「スカイワードあさひ及び旭城の指定管理者の指定について」で、この議案に対し、山下議員が反対していました。

なお、反対理由は、討論が無く不明です。